

# 平成28年度 あきたスマートカレッジ (報告)

## Aあきたふるさと講座

### A13～16：あい LOVE あきた

会場：秋田県生涯学習センター4階 第1研修室

【趣旨】ふるさと秋田を愛し、各分野で活躍している元気な秋田県人から話を聞き、ふるさとの魅力を探る講座です。国際交流や芸術・『行動人』の活動など、県内の多彩な活動を広く県民のみなさんに紹介しています。

講座記号	期 日	テーマ	講 師	参加者数
A13	6月4日 (土)	秋田に移住してみて	ハバタク株式会社 代表取締役 丑田 俊 輔 氏	17
A14	7月2日 (土)	秋田に暮らしてみてもうこと ～私たちは元外国人、そして今は秋田人～	(ブラジル出身) 小林 久 江 氏 (フィリピン出身) 保坂チャリーナ 氏	20
A15	8月6日 (土)	笑いで元気に 人星亭喜楽駄朗	日本笑い学会 秋田県人会長 米谷 裕 夫 氏	30
A16	10月1日 (土)	音楽の話あれこれ ～秋田の吹奏楽を中心に～	元秋田県立新屋高等学校校長・前秋田県吹奏楽連盟会長 高野 豊 昭 氏	50
合計				117名

各分野で活躍している元気な秋田県人からさまざまなお話を聞き、新たな元気を得て、秋田をますます好きになりました。

ここでは、行動人として紹介させていただいている米谷裕夫さんの講座(3回目の講座)について報告します。



57歳の時、新聞の催し物情報に「これは何だ」と気になるものを見つけた。日本笑い学会東北支部主催「笑学校」。当日、東北支部長の主催者挨拶は「ワッハッハ！」と大声で3回繰り返すのみ。まさに「衝撃＝笑撃＝招撃」を受けた。それ以来、日本笑い学会の活動に参加し、学会発表を毎年行い、今年のテーマは「ハイブリッド秋田弁で地域を活性化させよう」。今では27人もの弟子を持つ大師匠。「笑いこそが長寿の秘訣であり、幸せの原点」というのが信条。「裕福であっても、笑いの無い生活は幸福とは言えない」「病

気になったと頭を抱えるだけでは鬱になる。むしろ腹を抱えて大笑いで生きることを考えよう。病気と闘うのではなく、病気との共存だ。まじめな話をまじめにするのではなく、多くの笑いネタの中で自身の人生哲学を皆に説くというのが「ソクラテスのような脳みそと綾小路きみまろの舌を持つ男」の意味合い。

参加者が一番大笑いし、感心したのは、「熟年の奥さんが夫と旅行に行きたがらずに友達と行きたがるというでしょ。あれは、旅館に着くなり(横になって手を振る様で)『お茶!』とやって普段の生活をそのまま持ち込むからですよ。旅行は非日常でしょ。やっぱり、そっと後ろに回り、こうやって(肩を揉む仕草で)『いつもありがとう』って奥さんの肩を揉まなきゃだめですよ。そんなことしないから、友達と行っちゃうんですよ」。女性は「まさにその通り」と大笑いで拍手喝采、男性は「そんな事してなかったよな」と苦笑い。笑劇が衝撃に。絶えず笑いがあり、笑いの中に多くの「気づき」があった90分間でした。